



c / i c k !

情報処理センター通信

CONTENTS

- ◆情報処理センターからのお知らせ
 - ・セキュリティ対策 ～快適なICT環境を保つために～ 1-2
- ◆情報処理センターレポート
 - ・第9回 国立大学情報系センター研究集会、
第18回学術情報処理研究集会 参加報告 3
 - ・第26回情報処理センター等担当者技術研究会 参加報告 3
- ◆編集後記 3

◆情報処理センターからのお知らせ

●セキュリティ対策 ～快適なICT環境を保つために～



【パスワード管理について】

ネットワークサービスを利用する際に、本人確認を行う手段として認証という方法を用います。

ほとんどのサービスはIDとパスワードというアカウント情報による認証(ログイン)を経て利用します。この方式は技術的な知識がなくても簡単に使いやすい反面、アカウント情報は単純な文字列のため利用者が厳重に管理する必要があります。万が一パスワードを紛失したり他者に漏れた場合は、情報漏えい・改ざん・成りすましといった被害を受ける危険があります。

アカウント情報のうちIDは予め決められている場合が多いので、パスワードは絶対に他者へ漏れることがないように管理する必要があります。大切な情報・財産などを守る為に今一度パスワード管理が適切か見直してください。

安全なパスワード管理とは

まず、設定するパスワードは他者に推測されにくいものにしましょう。悪い例としては以下のものがあります。

- ・人や物などの名前・・・robert,tarou00,tokyo123
- ・辞書にあるような単語・・・password, lucky7
- ・簡易な文字列・・・aaaaaa,12345678,abcd1234,1qaz2wsx(キーボードの配列)

その他、生年月日や学生番号、車のナンバーなどの個人情報を含めたり、IDと同じようなものにすることも避けましょう。

安全なパスワードの付け方は [click! 第12号「あなたのパスワード、大丈夫ですか？」](#) を是非ご参照ください。



そして、利用については以下のことに気を付けましょう。

・パスワードは他者に知られないように保管する

他人の目の付くところにメモしたり、他人が居合わず場で口頭にて伝えたりしないようにしましょう。共用するパソコンへパスワードを記憶させることも避けましょう。

・パスワードは定期的に変更する

長期間同じパスワードを使用することはその分危険も増えます。こまめに変更しましょう。



・パスワードは使い回さない

一度パスワードが漏れると連鎖的に被害が広がる可能性があります。特にIDにメールアドレスを使用しているサービスでは同じパスワードを設定しがちですので気を付けましょう。

パスワードチェックの実施



情報処理センターではセキュリティ対策として不定期にセンター発行のネットワークアカウントに対してパスワードチェックツールを用いて簡易なパスワードを設定していないかチェックを行っています。

簡易なパスワードと判定された利用者に対しては、パスワードを変更するよう警告のメッセージを送ります。受け取った方はすぐに安全なパスワードへ変更してください。

情報処理センターからはネットワークアカウントのパスワードを聞くことはありません。パスワードを聞き出すような電話やメールなどがありましてもすぐには答えず情報処理センターまでご相談ください。

【参考】国民のための情報セキュリティサイト（総務省）

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/

【参考】国民のための情報セキュリティサイト（総務省）> 「パスワードの設定と管理」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/enduser/security01/04.html

○情報セキュリティへの取り組み

情報セキュリティに関して、本年9月に「記録媒体のセキュリティ対策」について注意喚起が、10月に「USBメモリ等の取扱について」情報セキュリティ委員会決定がありました。学芸ポータルトップ画面の「リンクメニュー」に掲載(右の図)されておりますので既に周知のことではありますが、こちらの決定事項に時折り目を向け確認することは、貴重な知的資産・情報を守るセキュリティ意識の持続につながると言えます。

- ・記録媒体のセキュリティ対策 ⇒ 【注意喚起】個人情報を含む非公開情報を記録した記録媒体のセキュリティ対策について
- ・USBメモリ等の取り扱いについて ⇒ 「本学の保有する重要情報を記録したUSBメモリ等の取り扱いについて」

〔学芸ポータルのトップ画面にあるリンク集〕

リンクメニュー

- 公的資金・外部資金情報サイト
- 学芸大科研Webページ
- 公的研究費関係ハンドブック
- 平成23年度重点研究費報告書
- 例規集・業務情報等
 - 中期目標・中期計画
 - 大学概要
 - 国立大学法人としての公表事項
 - 例規集
 - 法令集等購入・配置一覧
 - 就業規則等（各種手当届及び手引）
 - 全学情報化マスタープラン
 - 情報セキュリティポリシー・ガイドライン
 - 記録媒体のセキュリティ対策
 - USBメモリ等の取扱について
 - 不正防止計画（H26）
 - 内部監査結果に基づく指摘事項と修正・事後措置
 - 教員組織（教室構成員）
 - 委員会等一覧
 - 工事関係のお知らせ
 - 経理課（契約関係） ※学内
 - 国際課 Website

◆ 情報処理センターレポート ◆

● 第9回 国立大学情報系センター研究集会・第18回学術情報処理研究集会 参加報告

2014年9月25日(木)～26日(金)、信州大学にて第9回情報系センター研究集会、第18回学術情報処理研究集会が開催され、本学情報処理センターから技術職員の久保が参加しました。

初日の情報系センター研究集会では、「情報システムのセキュリティ管理について」というテーマで複数の発表と討論が行われ、その後募集議題より「一般教養教育における情報教育(一般情報教育)のあり方について」というテーマで、奈良女子大学学術情報センター副センター長の駒谷昇一氏より発表がありました。二日目の学術情報処理研究集会では、インフラ、ライセンス管理、クラウドといった様々なテーマの発表や質疑応答が行われ、各大学のこれらのテーマに対する方針や運用を知ることができました。

【参考】 <http://www.center.shinshu-u.ac.jp/ipc2014/program/>



● 第26回情報処理センター等担当者技術研究会 参加報告

2014年8月28日(木)～29日(金)、電気通信大学にて第26回情報処理センター等担当者技術研究会が開催され、本学情報処理センターから竹原専門職員、久保技術職員が参加しました。

各大学の情報系センター担当者からの研究発表、現状報告が発表され、その後の質疑応答、情報交換会では活発な意見交換がなされました。また各日の最後には特別講演として、1日目にはNTT株式会社の本庄 利守氏から「ビッグデータ時代の大規模分散処理基盤技術」、2日目には開催校の電気通信大学の土屋 英亮 准教授から「情報系センターの大学間連携を考える～多摩ICT拠点の紹介と連携の実践について～」というテーマで発表がありました。多摩ICT拠点には本学情報処理センターも参加しております。

編集後記

低価格化が進み普及してきたフラッシュメモリ。機器名だとSDカードやUSBメモリなどがあり、小型で耐衝撃性に優れ書き換え速度も速いことから、最近ではパソコンに内蔵される記憶装置に磁気ディスクへ記憶するHDDに変わってフラッシュメモリが詰まったSSD搭載型も増えています。使い勝手が良いのでデータの持ち出しや受け渡しなどに多用されますが、耐久性はどのくらいなのか気になったので調べてみました。一説によるとデータの保持期間は10年から数十年とのこと。なんだ、じゃあ安心と思ったら大間違い。これは保存した状態がいつまで持つかという期間であって、温度湿度や取り扱い方、読み書きを実行する電子部品の耐久性などによってどんどん短くなるそうです。実際買って1年もしないのに壊れたとかデータが消えたという相談もあります。やはり過信はせずに大切なデータはバックアップを2か所以上に取った方が良いでしょう。(竹)



国立大学法人 東京学芸大学

情報処理センター

□TEL 042-329-7710 □FAX 042-329-7711

□URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>

□E-mail ipcenter@u-gakugei.ac.jp